

### ●●銀 章●●

## 継続こそ大切

岩手県奥州市

高橋 陸夫



この度、善行特別表彰銀章受賞の栄に浴し、大変光栄に存じます。小生は、今から四十年前に創作「佐野太鼓」を創設、地域コミュニティの一環として集落の小学生全員(現在十人)と青年有志により活動を続けて参りました。平成五年に「銅章」を受賞以来「善行会」とのご縁を頂き今日に至っております。太鼓活動の継続により県内、東北そし

て全国の太鼓仲間との交流、姉妹都市交流や市の大きなイベントに出演の機会を頂いておりますとともに、太鼓以外の芸能団体との交流も深まり、創設して今日まで継続できたことにお世話になったすべての方々に感謝申し上げます。明治神宮での表彰式は、厳かに格調高く挙行され、身の引き締まる思いと、今後とも新たな善行行為者の発掘、善行精神の啓発に励まなければと思いを新たにいたしました。当日のアトラクションで歌われた彼女「広澤孝美」さんの、澄んだ声は会場いっぱい響き、感動いたしました。来年の「東京・ラリンピック」でぜひ、彼女に歌っていただきたいものと念願しています。その時私どもは、今回受賞の喜びを再度感ずるのではないかと思っています。更なる善行会の発展をご祈念申し上げます。

## 会員の声

東京都杉並区 小向 一夫

私は、毎日、通学路で児童の交通誘導とあいさつの声かけをしています。児童が、いつもおじちゃんおはようと声をかけてくれると、かわいさともにも元気をもらっています。続けていく内に、児童から学校での楽しかったことなど、話してくれる子もいます。も、NHKで放送しているチコちゃんに叱られるの番組の受け売りを、ついでに子供たちに話して、ボウと生きてんじゃないと、子供たちにしかられて、和んでいます。

## ふる里自慢

北海道遠紋地区支部

旧石器時代の黒曜石製大型石器が展示されています。

石器作りに挑戦してみても如何ですか

遠軽町は大雪山の源よりオホーツク海中央部湧別町に流れる湧別川の中流域にあります。平成十七年十月市町村合併で(白滝村・丸瀬布町・生田原町・遠軽町)四町村が合併して人口20000人、面積13,032.45km<sup>2</sup>の新しい遠軽町が誕生しました。全国の八番・北海道内町村規模



では、足寄町に次いで二番目の広大な面積規模の遠軽町です。JR石北線(札幌発)遠軽(網走着)の經由地で、この遠軽町を通過するJR特別急行列車は、白滝駅、丸瀬布駅、遠軽駅、生田原駅の四ヶ所に停車する町です。白滝は湧別川の上流域で、日本最大の黒曜石産地です。黒曜石は火山が生み出した天然ガラスで、先史時代には槍やナイフ、矢じりなどの原石として利用されてきました。白滝地域には、凡そ

二万五千年前、先石器時代(旧石器時代)の遺跡が九十箇所余り発見されました。また、この遺跡の上を高規格道路が開設されるにあたり、北海道埋蔵文化財センターは地元遠軽町の協力を得て、遺跡の発掘調査を平成七年より平成二十年までの十四年間で二十二箇所の遺跡発掘調査を行いました。発掘調査で、七六〇万点、総重量では三万トンに及ぶ資料が発掘されました。また、大きな黒曜石が手に入り易い環境だったことから、他の遺跡では見ることの出来ない大型石器も出土しました。

史跡に指定されました。発掘された資料の多くは黒曜石で、このうち1,858点が北海道の旧石器時代を代表する資料として重要文化財「北海道白滝遺跡群出土品」として指定を受け、白滝埋蔵文化センターに石器の数々を展示公開しています。

現在遠軽町では、地質学・考古学的にも重要な自然遺産を、研究や教育、観光に活用するため、ユネスコの正式事業であるジオパークに取り組み、平成二十二年に日本ジオパークの認定を受け、「自然と文化の融合」をテーマに活動をしていま

マリーに活動をしていま。遠軽町白滝総合支所に併設の白滝ジオパーク交流センターでは、黒曜石の成り立ちを映像や資料で紹介。また、埋蔵文化センターでは、黒曜石を使用した石器作りやアークセサリー作り等様々な体験を楽しんで頂けます。是非一度お越しください。



尖頭器 ヌリ

## お知らせ

▽定時総会

〔日時〕六月二十一日(金) 十三時~十四時

〔場所〕東京都新宿区 グランドヒル市ヶ谷

## 訂正とお詫び

四月号三面の支部だよりの兵庫支部の文中で、末松伸介参議院議員と掲載されていましたが、正しくは、末松信介参議院議員です。末松信介議員様には深くお詫びを申し上げ関係者の皆様にご迷惑をお掛けしました事を訂正を申し上げます。お詫びを申し上げます。

## 支部だより

大分県大分支部

福祉施設を芸能慰問

三月二十三日、松井猛支部長をはじめ、帆玉澄子芸能奉仕班長、佐藤満洋、立川寿両副支部長ほか、十六人が大分市高尾の「あけのメデイカルクリニックデイケアセンター」で、芸能奉仕活動を行いました。

舞台は、会員田仲満紀子さんの司会で、松井猛支部長の民謡「海舟・龍馬」は、松井猛支部長の作詞作曲で、幕末に英・仏・蘭・米四ヶ国艦隊による長州砲撃を中止させるため、勝海舟が坂



馬豊後路をゆく」で開幕。続いて会員の民謡吟「関の鯛つり唄」、歌謡吟「静の舞」、鼻歌による童謡「七ツの子」「ふるさと」、舞踊、「おてもやん」、詩吟「長寿賛歌」、舞踊「望郷子守唄」、短歌吟「シャンシャン馬道中」「ひえつき節」「めじろん音頭」などで、三味線・尺八・太鼓の伴奏で約一時間、楽しんで貰いました。

## 善行川柳

選者 東 逸平

○可愛い背に 未来いつばい ランドセル 北海道 齊藤 勉

評/良いですね。《可愛い背に》が利いていますね。

○遅れ来た 配達員を 思いやり 東京都 神鳥谷知己

評/この思いやりが善行のシンボルですよ。とても良いです。

○迷い鳥 雲一つない 青空に 静岡県 真野 和代

評/作者の心に迷い鳥が飛んだ。雲一つない青空にかき消されていくように。

○ぼちぼちと 健康維持の 散歩道 香川県 丸野 忠義

評/《ゆっくり 歩きましょう 人生は》作者は、ひとりで12篇の投稿作品の中より選びました。いずれも力作揃いでした。